



● 休憩スペース/Rest Space ● 赤ちゃん休憩室/Rest Space for Baby

1 柏図書館 Kashiwa Library 知の交流を支える図書館

2 大気海洋研究所 Atmosphere and Ocean Research Institute 空と海が教えてくれること

3 新領域創成科学研究科/環境系 Graduate School of Frontier Sciences/Division of Environmental Studies

3 グローバル教育センター柏支部 Center for Global Education (Kashiwa Branch)

4 新領域創成科学研究科/生命系 Graduate School of Frontier Sciences/Division of Biosciences

5 新領域創成科学研究科/基盤系 Graduate School of Frontier Sciences/Division of Transdisciplinary Sciences

6 環境安全研究センター Environmental Science Center, Kashiwa Branch

7 物性研究所 Institute for Solid State Physics

8 カブリ数物連携宇宙研究機構 Kavli Institute for the Physics and Mathematics of the Universe (Kavli IPMU)

9 宇宙線研究所 Institute for Cosmic Ray Research

10 空間情報科学研究センター Center for Spatial Information Science

10 文書館 The University of Tokyo Archives

11 生産技術研究所 Institute of Industrial Science

11 モビリティ・イノベーション連携研究機構 Mobility Innovation Collaborative Research Organization



い お魚倶楽部はま Sushi Restaurant Hama

ろ プラザ良い Plaza IKOI

は 生協(フードショップ&カフェ) Co-op (café & food shop)

に カフェテリア Cafeteria

ほ 移動販売 Food Stall

へ 移動販売 Food Stall

と 移動販売 Food Stall

1 特別企画@柏図書館

A 情報基盤センター Information Technology Center

B 産学官民連携棟 Kashiwa2 Cooperation Hub

MAP INDEX

For detailed events info, access here!

Access the questionnaire here!

※移動販売の記載内容は主なメニューです。また、予告なく変更となる場合があります。

特別講演会 Special Lectures

開催日：2024.10.26(土) 13:00~15:00
会場：新領域環境棟 FS ホール (MAP 3)

会場
先着順

▶ オンライン配信はコチラ
https://www.kashiwa.u-tokyo.ac.jp/open_campus_2024/#special_lecture



13:00~13:40

被災した社会のレジリエンスを考える



大学院新領域創成科学研究科
国際協力学専攻
教授
ほんだ りき
本田 利器

自然現象の前では社会は脆弱です。どれだけ備えていても、それを上回る大きな災害が生じる可能性があり、その場合、何らかの被害が生じることは避けられません。その場合に重要となるのが復興です。復興のためのチカラはレジリエンスと言われ、その重要性がひろく認識されるようになってきました。特に、東日本大震災のような非常に大きな災害を考えると、完全に社会を守ることは事実上不可能です。復興までを視野に入れることは重要です。しかし、自然災害が生じる時は、常に予想外の事象が起こります。災害の発生後の復興となればなおさらです。レジリエンスまでを考えて災害への備えを有効なものとするためにはどのような考え方で対策することが考えられるのでしょうか。例えば、地震の多い日本では、過去の事例に基づき耐震設計技術を高めてきました。その地震防災の考え方は、阪神淡路大震災(1995)や東日本大震災(2011)等の大災害を経て、建造物のレジリエンスから社会としてのレジリエンスへと変遷してきています。レジリエンスの考え方は、国際的な視点からも重要です。例えば、災害への備えが十分ではない途上国等では非常に重要になります。どのように備え、備えることを支援すべきなのか、といった点について、国内外の事例を紹介しつつ、考えてみたいと思います。



13:40~14:20

その政策本当に効果がありますか



空間情報科学研究センター
講師
おおつ ゆうき
大津 優貴

政府は、社会のさまざまな課題に対応するために、多くの政策を実施しています。しかし、限られた予算や資源を有効に使うためには、これらの政策を常に改善し、より良いものにしていく必要があります。そのためには、政策の効果を正確に評価し、その結果を基に政策を見直すことが重要です。このような考え方は「EBPM(証拠に基づく政策立案)」と呼ばれ、近年ますます注目されています。EBPMを実現するためには、科学的なアプローチが不可欠であり、その一つが「統計的因果推論」という手法です。統計的因果推論は、ある出来事が別の出来事からどう影響を与えるのか、その因果関係をデータから明らかにするための方法です。特に、政策の効果を評価したり、社会科学の研究を行ったりする際に非常に重要です。社会科学の分野では、実験を行うことが難しい場合が多く、観察データや既存の情報を使って分析を行うのが一般的です。しかし、これらのデータから因果関係を正確に見極めるためには、データの比較方法や分析手法に工夫が必要です。今回の講演では、この統計的因果推論の基本的な考え方をわかりやすく紹介し、不法移民と取扱いに関する政策や刑務所での面会プログラムにおける事例を取り上げ、どのように統計的因果推論が使われて政策改善に役立つのかを解説します。



14:20~15:00

超強い磁場で物質の性質はどう変わるか



物性研究所
附属国際超強磁場科学研究施設
教授(副所長)
まつだ やすひる
松田 康弘

地球上の自然界は磁場が弱い条件の下で形成された世界です。磁石物質から発せられる磁場が他の物質に及ぼす影響は一般には弱いですが、人工的に極めて強力な磁場をつくることができれば、物質がその性質を大きく変え、この世界は大きく様変わりすると期待されます。実際に宇宙には中性子星のように強力な磁場をもつ星があり、その世界は地球上とは全く異なります。しかしながら、物質の性質を大きく変えるような超強力磁場を地球上で人工的につくるには技術的困難が伴うことがわかっています。磁場を閉じ込めるのに必要な機械的強度を有する物質が自然界に存在しないのです。これは、自己崩壊しないために自然界は強力な磁場を発生できない仕組みになっていると考えられることもできそうです。一方で、磁場は物質の性質を詳細に調べるためには欠くことができない実験環境パラメーターです。身近な例としては、磁気共鳴画像(MRI)診断には強い磁場が必要です。磁場によって物質の量子力学的な性質をみることができ、より強い磁場を使うことで解像度を上げた、より詳細な測定が可能となります。講演では、物質を調べるために必要な磁場から、新しい性質をつくり出すための超強磁場へと、極限的に磁場を強くした際に期待される物質の性質の変化について、強磁場発生技術とあわせて紹介します。



無料シャトルバス Free Shuttle Bus

※ 柏の葉キャンパス駅、江戸川台駅、柏駅へは東武バスもでていますが(有料)

- TX柏の葉キャンパス駅西口⇒柏キャンパス … 約10分間隔で運行します。始発9:40、最終15:50。
 - 柏キャンパス⇒TX柏の葉キャンパス駅西口 … 約10分間隔で運行します。始発10:35、最終17:50。
 - 柏キャンパス⇒柏IIキャンパス … 約15分間隔で運行します。始発10:00、最終15:45。
 - 柏IIキャンパス⇒柏キャンパス … 約15分間隔で運行します。始発10:10、最終16:55。
- ※ 始発と最終の時刻は予定であり、予告なしに変更となる場合があります。

- Kashiwanoha-campus Station (West Exit) to Kashiwa Campus :**
Runs every 10 minutes. First bus at 9:40, last at 15:50.
 - Kashiwa Campus to Kashiwanoha-campus Station (West Exit) :**
Runs every 10 minutes. First bus at 10:35, last at 17:50.
 - Kashiwa Campus to Kashiwa II Campus :**
Runs every 15 minutes. First bus at 10:00, last at 15:45.
 - Kashiwa II Campus to Kashiwa Campus :**
Runs every 15 minutes. First bus at 10:10, last at 16:55.
- Schedules may change without notice.



AR(拡張現実)クイズラリーに参加しよう! ARフォトフレームをプレゼント!

かくちょうげんじつ

さんか

Join our AR Quiz Rally and win special AR photo frames!

キャンパス内の各部局の受付にあるマーカーを読み取って、クイズに答えると、スタンプが集まります。

- 柏キャンパスの3つのエリアにある3種類のスタンプを集めると「**フォトフレーム Kashiwa I**」をプレゼント!
- 柏IIキャンパスのエリアにある1種類のスタンプを集めると「**フォトフレーム Kashiwa II**」をプレゼント!
- 4種類すべてのスタンプを集めて「**フォトフレーム UTokyo Kashiwa**」をプレゼント!

- スタンプラリーには専用のアプリが必要です。右記からダウンロードしてください。
- 同じエリア内に設置されたマーカーから獲得できるスタンプは、同じ種類となりますのでご注意ください。

Complete our AR Quiz Rally by scanning markers at various UTokyo Kashiwa departments to earn stamps. Collect all 3 Kashiwa I stamps, 1 Kashiwa II stamp, or all 4 to win different AR photo frames. Download the COCOAR app to participate.



まずはアプリをダウンロード!



スタンプラリーアプリ
COCOAR

かくぶきよく
各部局にある
マーカーにスマホを
かざしてね!



ARフォトフレームをプレゼント!

注意事項 Precautions

- 特別な場合を除きキャンパス駐車場は使用できません。
- 近隣店舗等の駐車場へは絶対に駐車しないでください。
- 地震等災害発生時には、スタッフの指示に従ってください。
- 大学職員が撮影した写真やビデオ等を広報活動に使用することがあります。
- 実験室内では、スタッフの指示に従ってください。
- 公開していない場所への立ち入りはご遠慮ください。
- キャンパス内は全面禁煙です。
- The campus parking lot is unavailable except under special circumstances.
- Please refrain from parking in the lots of nearby businesses.
- In the event of an earthquake or any other emergency, please follow the instructions of the staff.
- Photographs and videos taken by university staff may be used for public relations purposes.
- Please follow the staff's instructions while inside the research laboratory.
- Please avoid entering areas not open to the public.
- Smoking is strictly prohibited on campus.



For detailed events info, access here !

詳しいイベント案内はこちら!

https://www.kashiwa.u-tokyo.ac.jp/open_campus_2024/#list_departments



Access the questionnaire here !

アンケートに答えて記念品を貰おう!
(詳細は回答済み画面参照)

<https://forms.office.com/r/C353af7gD6>

